

一人ひとりの心がけが大きな効果に

ワーキングスペースでできる節電対策！

私たちが働く空間では、毎日たくさんの電気を消費しています。こちらでは、そのワーキングスペースでの具体的な節電方法と具体的にどれくらいの効果が期待できるかをご紹介します。ぜひ、今日から実践してください。

実施する節電メニューは、オフィスビルごとに異なります。また、節電効果については、資源エネルギー庁推計データなどに基づく一般的な試算値です。オフィスビルごとに異なりますので、ご了承ください。

1.天井照明の調整し、手元照明を活用

天井照明は蛍光灯を間引きするなどすることで節電することができます。また、使っていないスペースは部分的に消灯する、お昼休みの全消灯などの細かな心がけも大切です。天井照明の明るさを抑えた分、手元照明を活用することで、仕事の効率低下を防ぐことができます。

5~7%の節電に！

天井照明の蛍光灯を従来の1/2に間引きした場合

9.冷蔵庫・ショーケースの適切な運用

冷凍冷蔵庫の扉を開閉する頻度を必要最小限にすることにより、冷凍・冷蔵設備に係るエネルギーを低減することが可能に。ショーケース内の適正な温室度設定は収容商品により異なるため、ショーケースを適切な温室度で管理することで、無駄な消費電力の低減が可能に。

8.会議室の照明、空調をこまめにOFF

会議室は使用後の照明、空調の停止を徹底しましょう。会議時間を集中させて空調の効果をムダにしない、ドアを開放して風通りをよくするなど工夫してみることもおすすめです。

2.空調の温度設定

冷房の設定温度は28℃を基本に。また、使用していないスペースの空調停止も徹底しましょう。

2%の節電に！

エアコンの設定温度を26℃→28℃に変更した場合

3.ポット、レンジはコンセントから！

休憩スペースなどにある電気ポット、コーヒーマーカー、電子レンジなどの使用を控えましょう。また使わないものはコンセントから抜いておくように心がけてください。

4.一部のOA機器を停止

FAX、コピー機、プリンター、スキャナーなどのOA機器は、使用できるものを限定したり、電源を切っておき使用時のみ電源を入れるようにすると節電効果が高まります。

日々心掛けたい節電

2つ合わせて1~3%の節電に！

長時間の離席時にPCなどの電源OFFまたはスリープモード・スタンバイモードの活用、PCのディスプレイの照度低下、OA機器の未使用時の電源OFFの徹底、FAX、コピー機、プリンターの一部停止した場合

5.パソコンのこまめなOFFと設定変更

長時間、離席する場合は電源をOFF。スリープモード、スタンバイモードを活用することも効果的。使用中はディスプレイの画面の明るさを調整することで電力カットに。

日々心掛けたい節電

6.クールビズの導入

最近は暑さ対策として、クールビズを積極的に取り入れている企業も急増中。ノージャケット、ノーネクタイなど、過ごしやすい服装を工夫しては。

7.ブラインドの利用

ブラインドは直射日光の当たる時間、場所によって開閉角度を調節することで、室内の温度上昇を防ぐことができます。また、ブラインドを下ろしスラット(はね)を水平な状態にするだけでも効果が。冷房の負荷を軽減し、空調の節電にもつながります。

日々心掛けたい節電

日々心掛けたい節電

